■使い方など■『データベースで作る表・グラフの見本例』

レコフ M&A データベースの集計機能を利用して得られた数字を元に作成できる表・グラフの見本例と 集計条件指定項目をご紹介します。

## マーケット別件数・金額

① 検索条件の設定 【期間】2017/01/01-2019/11/30 【データ種別】M&A

② 「データ集計」をクリック

	● 基本項目 ○ 全項目 ○ 関連企業 ○ T				
項目	項目選択・ソート				
	データ種別,公表日など,当事者1,当事者2,形9 比率(後),合併・交換比率,対価,最新更新日,7	と「新生い」が出った日本には「新生い」を在く西方でいました。 初日,解消日,ニュースリリース日	ット,1業種,2業種,1株式市場,2株式市場,1証券コード,2証		
	[➡ 一覧表示	□ データ集計	🔀 条件リセット		
	▲ 詳細な条件設定				

③ 表示される「検索結果を利用したデータ集計」で内容や単位を選択し集計。

ここでは■集計内容-マーケット別 ■集計単位-件数 ■期間区分-年別

	◎ 当事者1業権別(マール40分類) ※2	◎ 当事者2業権別(マール40分類) ※2	
「M&A」「M&A関連」	□ 当学宿1 来檀別(東趾33分類) ※2	□ 当学者2業種別(東點33分類) ※2	
	◎ 当事者1都道府県別 ※2	◎ 当事者2都運府県別 ※2	
Trie .		◎ 当学者210利品別 ※2	
	◎ TOB集計		
TOB案件情報 ※1	<ul> <li>当事者2が日本で層出のブレミアム本別&lt;前日(直近)&gt;</li> </ul>	◎ 当事者2が日本で層出のブレミアム车別(1カ月平均)	
	<ul> <li>当事者2が日本で居出のブレミアム本別(3カ月平均)</li> </ul>	◎ 当事者2が日本で層出のブレミアム本別(6カ月平均)	
ŧ₩位	● 仟鼓	◎ 金額 (TOB集計の場合は買付金額)	

④ 集計表示ボタンをクリック

	IN-IN	IN-OUT	OUT-IN	合計(件	)		
2017年	2, 180	672	198	3,0	50		
2018年	2, 814	777	259	3, 8	50		
2019年(1-11月)	2, 703	760	242	3, 7	05		
合計 (件)	7, 697	2, 209	699	10, 6	05		
	IN-IN		IN-OUT	0	UT-IN	合計	(百万円)
2017年	<u>IN-IN</u> 2, 31	9, 275	<u>IN-OUT</u> 7,669,4	0 169	<u>UT-IN</u> 3, 607, 475	合計	<u>(百万円)</u> 13,596,219
	<u>IN-IN</u> 2, 31 2, 92	9, 275 5, 669	<u>IN-OUT</u> 7, 669, 4 18, 276, 7	0 169 709	UT-IN 3, 607, 475 8, 033, 958	合計	(百万円) <u>13,596,219</u> 29,236,336
	<u>IN-IN</u> 2, 31 2, 92 4, 65	9, 275 5, 669 5, 406	<u>IN-OUT</u> 7, 669, 4 18, 276, 7 9, 628, 7	0 169 709 742	UT-IN 3, 607, 475 8, 033, 958 1, 340, 719	合計 2	<u>(百万円)</u> 1 <u>3, 596, 219</u> 29, 236, 336 15, 624, 867





## 日本企業に対する投資会社の M&A 件数の推移

- ① 検索条件の設定【期間】2017/01/01-2019/11/30 【データ種別】M&A 【キーワード】投資会社(投資)に☑
- ② データ集計ボタンをクリックし、「検索結果を利用したデータ集計」で下記条件を設定後、集計表示ボタンを クリック

■集計内容—マーケット別 ■集計単位—件数 ■期間区分—年別

★集計結果では IN-OUT も表示されますが、日本企業に対する M&A なのでここでは IN-IN と OUT-IN の値を使います

	I N-I N	OUT-IN	合計 (件)
2017年	514	84	598
2018年	647	104	751
2019年(1-11月)	662	141	803
合計(件)	1, 823	329	2, 152

■応用グラフ例



## 全国 6 ブロック別 M&A 分布状況 (当事者 1)

① 検索条件の設定 【期間】2019/01/01-2019/11/30 【データ種別】M&A

② データ集計ボタンをクリックし、「検索結果を利用したデータ集計」で下記条件を設定後、集計表示ボタンを クリック

■集計内容—当事者1都道府県別 ■集計単位—件数 ■期間区分—年別

↓エクスポートすると下記のようになるので、エクセルの小計機能で地方別に集計。(海外法人、不明は除く)

地方	都道府県	2019年(1-11月)
北海道·東北	北海道	42
北海道·東北	青森県	2
北海道·東北	岩手県	7
北海道·東北	秋田県	3
北海道·東北	宮城県	20
北海道·東北	山形県	11
北海道·東北	福島県	11
関東·甲信越	茨城県	15
関東·甲信越	栃木県	14
関東·甲信越	群馬県	8
関東·甲信越	埼玉県	22
関東·甲信越	千葉県	23
関東·甲信越	東京都	2199
関東·甲信越	神奈川県	56
関東·甲信越	山梨県	5
関東·甲信越	長野県	15
関東·甲信越	新潟県	31
北陸·中部	富山県	16



当事者 2 のグラフを作成する場合、 集計内容は「当事者 2 都道府県別」を選択